

(様式1)

県営土地改良事業（水利施設等保全高度化事業（水利施設整備事業（農地集積促進型）））佐賀西部高城地区

変更計画概要書

佐 賀 県

目	次	頁
第1章	変更の内容	1
第1	地域及び地積	1
第2	主要工事計画	1
第3	事業費	2
第4	予定工期	2
第2章	変更を必要とする理由	3
第3章	変更後の計画概要	4
第1	目的	4
第2	地域の所在及び現況	4
第3	基本計画	5
第4	工事又は管理の要領	6
第5	換地計画の要領	6
第6	費用の概算	6
第7	効用	7
第8	他の事業との関係	7
第9	計画概要図	7
(様式2)	地域を記載した書面	8
(様式3)	県営土地改良事業（水利施設等保全高度化事業（水利施設整備事業（農地集積促進型））） 佐賀西部高城地区によって造成された施設の予定管理方法等	10
(様式4)	県営土地改良事業（水利施設等保全高度化事業（水利施設整備事業（農地集積促進型））） 佐賀西部高城地区における事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準	12

第1章 変更の内容

第1 地域及び地積

1. 地 域

変 更 前	変 更 後
佐賀県佐賀市大和町、小城市小城町、小城市三日月町	佐賀県佐賀市大和町、小城市小城町、小城市三日月町

2. 地 積

(単位：ha)

市町村名 現況地目	変更前						変更後						増減	
	田	畑	原野	山林	その他	計	田	畑	原野	山林	その他	計		
佐賀市	82.5	—	—	—	—	82.5	82.5	—	—	—	—	82.5	増減計	— 0.0
小城市	335.6	—	—	—	—	335.6	336.7	—	—	—	—	336.7	増減計	1.1 — 1.1
計	418.1	—	—	—	—	418.1	419.2	—	—	—	—	419.2	増減計	1.1 — 1.1

第2 主要工事計画

工 種	変更前	変更後	増減
用水路工	L = 16,714 m	L = 16,714 m	0 m
取水堰工	N = 2 ヶ所	N = 2 ヶ所	0 ヶ所
用排水路工	L = 15,082 m	L = 15,082 m	0 m

第3 事業費

(単位：千円)

変更前	変更後	増減	増減の内訳			
			自然増	工法変更	事業量変更	その他
2,019,228	2,019,228	0	0	0	0	0

第4 予定工期

変 更 前	変 更 後
H. 23～R. 7	H. 23～R. 10

第2章 変更を必要とする理由

地積の変更

- ・地区編入希望（事業参加申出）に伴う地区面積の増（1.1ha）

第3章 変更後の計画概要

第1 目 的

本地区は、佐賀平野の北西部に位置し、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業や施設園芸（いちご・きゅうり・なす等）が展開されており、農業用水は中小河川と小規模なため池に依存していることから、小規模の干ばつ時でも農業用水が不足し営農に支障をきたしている。また、農業用排水路の未整備（土水路）地域があり、農業用水確保のため浚渫や法面整形等に多大な労力を費やし、担い手の育成や農地集積に支障をきたしている。

このため、本地域では農業用水安定供給のため国営筑後川下流土地改良事業により、嘉瀬川ダムから農業用水を送水するため幹線水路を整備されている。その幹線水路から末端施設（パイプライン・ライニング水路）を整備し、農業用水の安定供給や、営農労力の節減を行い、担い手の育成や農地集積を図り、持続的な地域農業の発展を図る。

第2 地域の所在及び現況

1. 地 域

佐賀県佐賀市（大和町）、小城市（小城町・三日月町）

2. 地 積

市町村名 \ 現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計
佐賀市	82.5	—	—	—	—	82.5
小城市	336.7	—	—	—	—	336.7
計	419.2	—	—	—	—	419.2

3. 現 況

本地区は、佐賀平野の北西部に位置し、土壌は天山山系の裾野に黄色土が見られるほか肥沃な灰色低地土であり、比較的温暖で降水量が多い。営農体系は、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業や施設園芸（いちご・きゅうり・なす等）が展開されているが、農業用水は中小河川と小規模なため池に依存していることから、小規模の干ばつ時でも農業用水が不足し営農に支障をきたしている。

第3 基本計画

1. 一般計画

（1） 用水計画

本地区は、国営筑後川下流土地改良事業の受益地となっており、嘉瀬川ダムからの貯留水（農業用水）を川上頭首工地点から送水するための幹線水路整備にあわせて、本事業で末端施設（パイプライン・ライニング水路）を整備し、農業用水の安定供給や、営農労力の節減を行い、担い手の育成や農地集積を図り、持続的な地域農業の発展を図る。

（2） 一般計画

本地区は、佐賀市及び小城市田園環境マスタープランにおいて、環境配慮区域に位置することから、周辺環境や生態系保全に配慮した整備計画とする。

農業用排水路については、水路上部を土羽構造とし植生の回復を図り、小動物保護側溝等を要所に設置し生息環境の確保に努めることとしている。

また、管水路（パイプライン）については、現況の道路内地下埋設であることから生態系や景観形成等への影響は少ない。

このほか、工事期間中に保全対象生物が確認された場合は、速やかに関係機関との協議を行い移植・保護に努め、使用する建設重機は排出ガス対策型を使用する計画である。

第4 工事又は管理の要領

1. 工事の要領

事業実施機関と工事施工者及び佐賀市・小城市・佐賀西部土地改良区が、連携し工事の円滑な推進を図る。

受益面積 A=419.2ha

農業用排水路 L=31,796m (99路線)

農業用水路 L=16,714m (35路線)

管水路 (DCIP ϕ 450 \sim ϕ 600 L=2,234m)、(VP ϕ 75 \sim ϕ 300 L=14,480m)

取水工 (固定堰B=2.2 \sim 2.7m) N=2箇所

農業用排水路 L=15,082 m (64路線)

開水路 (U字溝240 \sim 600 L=13,531m)、(二面水路800 \sim 1000 L=586m)

(三面水路800 \sim 1000 L=965m)

2. 管理の要領

事業で造成された施設は、農業用排水路（開水路）については、佐賀市及び小城市にて管理する計画である。また、農業用水路（管水路）は、佐賀西部土地改良区で管理を行う予定である。

第5 換地計画の要領

該当無し

第6 費用の概算

事業費	2,067,380 千円
事務費	72,481 千円
計	2,139,861 千円

第7 効 用

(単位：千円)

効 果 項 目	年総効果（便益）額	年増加農業所得額
作物生産効果	148,540	165,324
営農経費節減効果	396,011	396,011
維持管理費節減効果	△ 15,138	△ 6,699
国産農産物安定供給効果	20,268	0
計	549,681	554,636

(参考)

・総費用総便益比＝総便益14,253,180千円／総費用12,976,531千円＝1.09

総便益は、事業期間＋評価期間（40年間）で発生する事業による効果額の合計

総費用は、本事業費とこれに関連した施設の整備費で評価期間（40年間）の施設更新費含む

第8 他の事業との関係

本地区は、かんがい用水を安定的に供給するための多目的ダム建設事業（嘉瀬川ダム）及び筑後川下流土地改良事業（佐賀西部導水路・佐賀西部高域線等）を上位事業とし、お互いに補完する関係にある。

多目的ダム建設事業（嘉瀬川ダム）

H. 15～ H. 22

筑後川下流土地改良事業（佐賀西部導水路・佐賀西部高域線等）

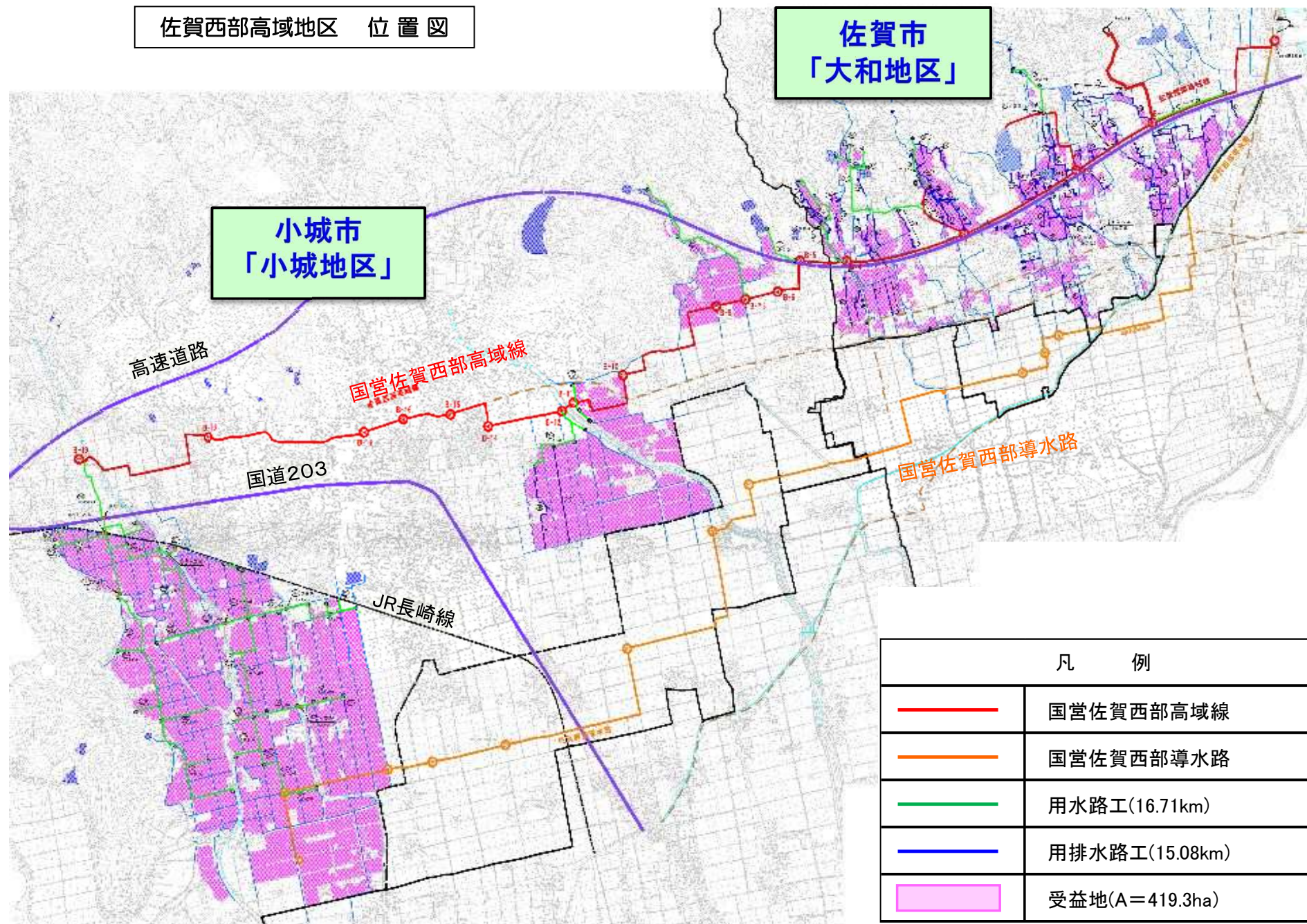
H. 7～ H. 30






第9 計画概要図

別添 位置図

別添 標準断面図

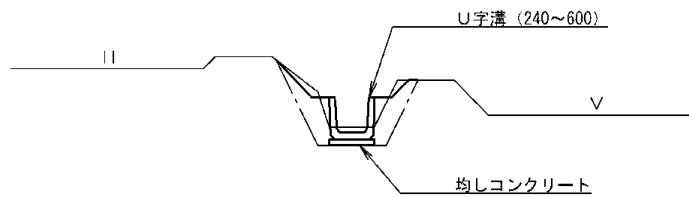
佐賀西部高域地区 位置図



凡 例	
	国営佐賀西部高域線
	国営佐賀西部導水路
	用水路工(16.71km)
	用排水路工(15.08km)
	受益地(A=419.3ha)

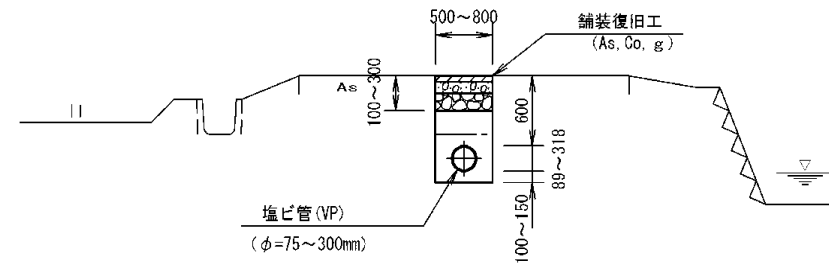
佐賀西部高域地区 標準断面図

U字溝布設 標準図

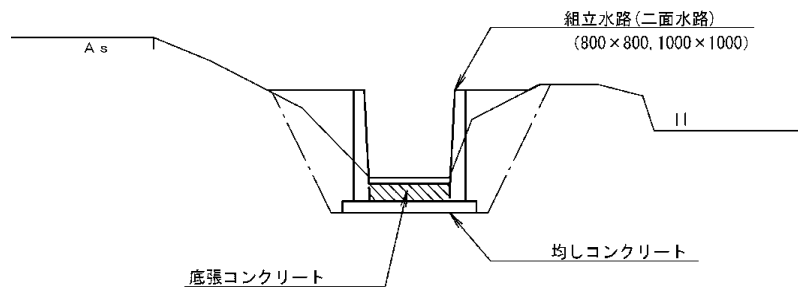


塩ビ管 (VP) 布設 標準図

〔適用管径： $\phi=300\text{mm}$ 以下〕



組立水路布設 標準図



ダクティル鑄鉄管 (DCIP) 布設 標準図

〔適用管径： $\phi=350\text{mm}$ 以上〕

